

三井物産株式会社

<https://www.mitsui.com/jp/ja/sustainability/contribution/environment/forest/about/outline/index.html>

<https://www.mitsui.com/jp/ja/sustainability/contribution/environment/forest/biodiversity/index.html>



《将来に向けた取組方針》

社有林「三井物産の森」(約44,000ha)のうち、生物多様性の観点から重要性が高いエリア(全体の約10%)を生物多様性保護林と区分し、さらに森林の性質によって「特別保護林」「環境的保護林」「水土保護林」「文化的保護林」に分け、保護の目的を明確にし特徴に応じた管理を行うことで、生物多様性の保全に踏み込んだ森林管理を実現していく。生物多様性の保全に努めながら、「三井物産の森」を環境、社会、経済すべての面で多面的に利活用する。

環境保全と林業の両立

施業で得た収益を天然林・天然生林の整備にも資金還元できる経済性ある仕組みづくりに取り組む。

丸太の生産と安定供給

日本の年間木材需要の約0.1% (約5万m³)の木材を安定供給

木質バイオマスの利用促進

北海道・苫小牧および下川町でのバイオマス発電事業へ燃料として木材を供給



地球温暖化防止のための吸収源/ 地下水の涵養

CO₂を吸収・固定するほか、全体の約3割は水資源の確保や水害防止に役立つ「水源涵養保安林」として公的に指定

「三井物産の森」を通じた環境教育

間伐体験などを行う森林体験を通じて人と自然とのつながりを考えるきっかけ作りを提供

森林の保全を地域の文化・伝統保全につなげる

森林の持つ文化を育む機能を大切に。アイヌ民族文化の保全・振興、京都の伝統行事継続支援を実施

● 経済 ● 環境 ● 社会